

## 令和3年第10回（定例）高砂市教育委員会 会議録

### 日時

令和3年7月29日午後5時00分

### 場所

高砂市役所分庁舎1階大会議室

### 出席者

衣笠教育長、山名委員、神尾委員、吉屋委員、吉田委員

### 出席事務局職員

永安教育部長、阿部教育推進室長、赤松学校教育室長、三木教育推進室教育総務課長  
高橋学校教育室学校給食課長、矢野学校教育室学校教育課長、  
竹内学校教育室学校教育課主幹、中野教育推進室生涯学習課長、荒木教育センター所長

### 本日の会議に付した事件

#### 議案

- 1 高砂市青年の家管理条例施行規則を廃止する規則について
- 2 職員の兼業について
- 3 高砂市教育委員会表彰の被表彰者の決定について
- 4 令和4年度使用義務教育学校教科用図書の採択について
- 5 社会教育関係団体の登録申請について

#### 協議事項

- 1 令和4年度事業計画について

#### 報告事項

- 1 高砂市議会6月定例会の報告について
- 2 教育センター利用状況等の報告について
- 3 学校給食に関するアンケート調査の結果について
- 4 高砂市教育委員会事業後援・共催について

#### その他

- 1 8月の行事予定について

---

議 事 議案 1 高砂市青年の家管理条例施行規則を廃止する規則について

○事務局 (議案 1 について説明)

○教育長 何か御意見、御質問ございますか。では、承認いただきましたので、こうした形で進めたいと思います。

---

議 事 議案 2 職員の兼業について

○事務局 (議案 2 について説明)

○教育長 何か御意見、御質問ございますか。では、御承認いただきましたので、兼業については許可ということをお願いします。

---

議 事 議案 3 高砂市教育委員会表彰の被表彰者の決定について

○事務局 (議案 3 について説明)

○教育長 何か御意見、御質問等ございますか。

○委員 今回年齢的に若い先生が入ってこられているので、非常にいいことだなと思います。

○教育長 ありがとうございます。この表彰制度が頑張っておられる先生方を表彰して、さらに頑張っていたきたいという思いでつくられた制度ですので、年齢の中堅どころの先生方もどんどん推薦していただいて、何らかの形でさらに頑張っていただけたらということもありましたので、そういった意図を酌んでいただいて、校長先生も推薦されたということだと思います。ほかに何か御質問等ございますか。では、御承認いただきましたので、以上の選考委員から推薦しました方々、次回の教育委員会の終了後に表彰を行うということで進めさせていただきます。

---

議 事 議案 4 令和 4 年度使用義務教育学校教科用図書の採択について

○事務局 (議案 4 について説明)

○教育長 令和 4 年度使用の中学校教科用図書の採択につきましては、本来でしたら昨年度行った高砂市教科用図書の選定委員会の結果に基づいて採択しました教科用図書と同一の教科用図書を使用するのですが、今回、中学校の社会科の歴史的分野におきまして、自由社の新しい歴史教科書が発行されました。文科省の検定に合格したということで、中学校の社会科の歴史的分野のみ採択替えを行うことが可能になりましたので、審議をいただくということです。委員の皆様には、

それぞれ2社の教科用図書を見ていただいておりますけれども、報告書も参考にさせていただきながら、中学校の社会科の歴史的分野の採択替えにつきまして、御意見いただいて審議をお願いしたいと思いますのでよろしくお願いします。どの委員さんからでも結構ですので、御意見ありましたらよろしくお願いします。

○委員 自由社の教科書を見させていただいて、最初に感じたことは、日本の国が起こってくるときの形と神話的なものの記載が非常に多くて、天皇制度に対してもそういう記載が多くありました。また、全体的に見て近世の日本の記載が少ない、それから外国の歴史の記載が少なく、日本の歴史がある中で、その時々外国の状況との関わりが非常に分かりにくいのではないかという記載でした。また、仁徳天皇陵、大山の記載を今使われている呼び名を使用しないのはなぜかなと思いました。やはり現在採用している帝国書院のほうが見やすいと感じました。また、巻末に年表が書かれてあり、あまり差はないのですが、表記の仕方は帝国書院のほうが見やすかったです。それから、自由社の中で「3つの日本」という言葉が出てきていて、こういう表現が妥当なのかどうか教えてほしいのです。日本列島に刻み込まれている3つの日本が今の日本をつくっています、3つの日本のおかげで私たちが今あります。その日本の歴史がこれから学ぼうということで書いて、その3つの日本という形で、森の国、水田の国、町工場の国と書いていますが、この表現はずっと教育の中で使われているのですか。

○事務局 使われていないと思います。聞いたことはないです。

○委員 他の教科書を読んだときはこんな記述がなかったので、何かここに誘導してこういう形で在り方を定着させようという意図を感じるころがあるかなという気はしました。また、高砂市による調査の報告書ですが、最初に、QRコードがなくてICTを使ってできるような工夫がなされていないと書かれています。ちょっときつく表現し過ぎではないかなと。もう少しマイルドな書き方でもいいかなという気はします。

○委員 教科書の採択について、ポイントを絞って見させていただきました。今年から中学校で実施されている新学習指導要領の課題にどう取り組んでいるかというところがポイントだと思いました。まず1つは、「主体的・対話的で深い学び」という部分ですが、帝国書院さんはこのコーナーをつくっていて、確認しよう、説明しよう、コラム等できれいに系統立って学習できるようになっています。自由社さんについては、そういう系統立ってやっているということはなく、帝国書院さんの方が使いやすいのかなと感じました。次に「思考力・判断力・表現力」という部分について、帝国書院さんは各章ごとに会話的な作業を通して自分の考えを深めるような工夫があったように思います。自由社さんは先ほどの主体的・対話的などころの部分と一緒に、あまり系統立った感じの組立てではないような気がします。それがあっても意味使い勝手がよいかもかもしれませんが、歴史という評価をする意味で言えば、やはり系統立っているほうが歴史的な流れを含めて学びやすい、

教えやすいのかなと思いましたので、帝国書院さんがいいのかなと感じます。もう1点は、身分制の変化、差別問題です。同和問題についてはいつも見させていただくのですが、この分については、江戸時代の身分制度の士農工商、穢多・非人から武士、百姓、町人へ変わったという歴史的認識が新しい教科書は変わってきているのですが、そこに関しては文字数、表現等、ほとんど同じでした。ただ、帝国書院さんはその施策について、具体的に反対の意見もありましたというところがコラムの中で出ているのです。解放令というのですが、言葉だけで言うと当然差別制度の解放令ですから、一見もろ手を挙げて全員が賛成するような名前になっていますが、実は解放令が出たことによって、逆に差別意識が強くなって恒久化するというのが今の認識なのです。明治以降になって差別がひどくなって苦しくなったということについて、帝国書院さんがコラムの形でぶつけています。細かい配慮を感じました。あと、帝国書院さんは、教科書の最初の見開きにこの教科書の学習の仕方というページがあるのですが、そこが非常に分かりやすく、先ほどの新学習指導要領にのっとった進め方も凡例として載っていたので、使いやすいなと思いました。一方、自由社さんのほうはいろいろ人物を詳しく説明したり、コラム等でも歴史的な興味づけをするような題材が沢山出てきて、読み物教材として興味づけをするのには自由社さんは非常にいいと思いました。今までの歴史の教科書のイメージとは少し違う形の提案をされているのだなという思いを持ちました。総合的に判断とすれば、帝国書院さんのほうがいいのかなと感じました。

○委員 私は自分が子供の頃になじみがある教科書としては自由社さんのほうなのです。ですが、この歴史というのは日本史じゃないので、自由社さんは日本史に特化している気がします。日本にこだわって書いていて、読んでみると物語的に面白いのですが、何か筆者の思いを感じる部分があったりして、教科書としてはどうなのかなというところが少しありました。それと、1ページに書かれている情報の量が圧倒的に帝国のほうが多い。色々なところを読むと物すごい情報が入っているという意味では、帝国さんのほうが子供たちにはいいのではないかなと。教えるほうも教えやすいのではないかなと感じました。

○委員 私も読ませていただいて、書かれていることの量の多さがまず違って、子供に勉強させるという視点で見たときに、帝国書院かなと思います。自由社さんは皆さんおっしゃったように引っかかるところが色々ありました。また、表現の仕方でも、意図をすごく感じました。でも、今は事実を客観的に勉強していくことがグローバル社会で大事だと思うので、私も帝国書院の方がいいと思います。

○教育長 ありがとうございます。教科用図書として、中身もそうですし、生徒にとっての使いやすさとか教師にとっての指導のしやすさに触れていただきながら御意見をいただきました。御意見を聞いていますと、採択替えをする必要はないかなという御意見が多く出たように思いました。中学校の社会の歴史的分野の教科書に

については、採択替えなしとすることで御異議はないですか。異議がないということですので、中学校の社会の歴史的分野の教科用図書については採択替えなしということで決定しました。よろしくお願いいたします。

---

議 事 議案 5 社会教育関係団体の登録申請について

○事務局 (議案 5 について説明)

○教育長 何か御意見、御質問ございますでしょうか。特にないようですので、御承認いただきましたので、8月1日付で事務的に進めていきたいと思えます。

---

議 事 協議事項 1 令和 4 年度事業計画について

○事務局 (協議事項 1 について説明)

○教育長 何か御意見、御質問ございますか。

○委員 もう既にやっている事業に関しては、新規と書いてあるものは将来に新たに充実していく形の分をメインとして書いているという解釈でいいことですか。

○事務局 基本的にはそうなります。現在取り組んでいる事業は、もう予算上経常的にありますので、例えば増額をする場合は新規で計画を挙げていく必要があるということで取扱いさせていただいています。

○教育長 では、特に御意見ないようですので、この新規と書いてある部分を拡充または充実ということで、増額も予定されている部分があると御理解いただきましたので、この43の事業につきましては、また協議をしていくということで、よろしくお願いいたします。

---

議 事 報告事項 1 高砂市議会 6 月定例会の報告について

○事務局 (報告事項 1 について説明)

○教育長 何か御意見、御質問ございますか。

---

議 事 報告事項 2 教育センター利用状況等の報告について

○事務局 (報告事項 2 について説明)

○教育長 何か御意見、御質問ございますか。

○委員 学生やOB以外で利用されている方はどのくらいいらっしゃるのですか。

○事務局 本当に僅かなのですけれども、各年度大体10件ほど、学生、OBの方以外のほかの利用があります。

- 委員 高齢者大学の生徒数は教えていただいたのですが、途中で退学される方はどのくらいいらっしゃるのですか。
- 事務局 表を見ていただきまして、例えば令和3年と令和2年と比べて令和2年の1年生が令和3年の2年生になりますから、これで10人減っているというところですか。高齢者大学につきましては、1年生から2年生になるときには、思っていたのと違うとかいうことでやめられるケースがあるように思います。あとは、介護の必要が出てきたというケースもありますし、逆に孫を見ないといけなくなってしまうから行けなくなった等のケースも聞いております。また、平成27年の1年生が例年より少なかったのですけれども、これは既に生石に移転するということが決まっていた段階でした。ですので、曾根周辺の方が遠くなると入学されなかったケースもありますし、近くなってからでいいということで入学を控えたというところがあって、一時的に減っております。その反動として、平成28年の1年生がかなり増えているというところがあります。また、全体的に高齢者の学生そのものは減ってきております。高齢者は増えているのですけれども、高齢の方でも仕事を続けられるケースがあったり、カルチャーセンター等の学べる場も増えてきたというところで、高砂市だけでなく、他市町でも学生の数が減少傾向にあるというところはあります。
- 委員 諸般の事情はあるだろうと思うけれども、減少が多いと思いました。コロナのこともあるけど、もう1回リバウンドがあってほしいなと思います。
- 事務局 以前は抽選しなければならないぐらい応募があったのですけれども、全体的に減ってきていますので、例えば一旦退学した人が再入学とか、それも可能なように今は考えています。ただ、やはり一旦退学して時間ができたからもう一度入りたいという方もそれほどいらっしゃらないというのが現実なところですか。
- 委員 昔の話ですが、それがすごく問題になって、いわゆるOBとして残った人がずっとその中を支配している雰囲気があって、新たに入りにくいという雰囲気が、弊害があると問題になったことがありましたけど、今は逆に少なくなったのですね。
- 事務局 OBは依然として一定数いらっしゃいます。学生に関しましては、さっき申し上げましたように、家庭の事情で途中で退学したということで、やっぱりもう一度やりたいなという場合に、それは認めてもいいのではないかなということで、今は認める方向です。ただ、一旦卒業するともうOBになりますので、再入学というのはもう基本認めないということで対応させていただいています。
- 委員 高齢者の方たちもすごく今情報量が多いので、ニーズも年々変わっていていると思います。またアンケート等でいろいろ聞いてあげてください。お願いします。
- 事務局 はい、分かりました。ありがとうございます。
- 教育長 今も努力しているのですけれども、学生数の数であるとかカリキュラムの編成なども考えながら、これまで同様努めてまいりたいと思います。よろしく申し上げます。

---

議 事 報告事項 3 学校給食に関するアンケート調査の結果について

- 事務局 (報告事項 3 について説明)
- 教育長 何か御意見、ご質問はございますか。
- 委員 引き落とし口座が選べるかどうかですけれども、公立はどうか知りませんが、私立だったら引き落とし口座が特定の引き落とし口座を指定するところがありますよね。市はどれもしてないのですか。
- 事務局 現在、私会計で学校が引き落としするときには、引き落としの手数料等の関係がありまして、学校のほうが指定の金融機関を選んでいるというのは聞いております。今度公会計になりますと市が引き落とししますので、市の指定金融機関として何社かありますので、どこの銀行を選んでもらっても大丈夫なような形になります。
- 教育長 休憩中にアンケートの取り方、結果の公表等も御意見いただきました。意見をいただいたことは公会計化に向けて生かしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

---

議 事 報告事項 4 高砂市教育委員会事業後援・共催について

- 事務局 (報告事項 4 について説明)
- 教育長 何か御意見、御質問ありましたらお願いします。では、特に御意見ないので、御承認いただけたということでお願いします。

---

議 事 その他 1 8月の行事予定について

- 事務局 (その他 1 について説明)
- 教育長 何か御意見、御質問ありますか。それでは、令和 3 年第 10 回定例の教育委員会を閉会いたします。

---

令和 3 年 7 月 2 9 日 午後 6 時 5 5 分 教育長会議の閉会を宣告

---